

生徒指導だより 1月号

明るく 正しく 元気よく

内子町立内子小学校



幸せな2026年にしましょう！

『一年の計は元旦にあり』という^{ことわざ}諺があります。

この言葉は「一年の計画は元旦に立てるべき」という



意味を持ち、始まりの時期にしっかりとした計画を立てることが成功への鍵であることを教えています。皆さんは、今年挑戦したいことや目標を持つことができているでしょうか。

新しい年が始まり、皆さんも幸せな一年にしたいという気持ちを高められたと思います。
では、人はそれぞれどんな時に幸せを感じるのでしょうか。

幸せになるには、人が生まれつき持っている5つの基本的欲求を満たす必要があるようです。5つとは、①「愛・所属(仲良していること)」②「力・承認(できる・認められること)」
③「自由(自由なこと)」④「楽しみ(楽しいこと)」⑤「生存(元気でいること)」です。

基本的欲求は、時代や性別、年齢、国籍を問わず、生まれつき持っていますが、求める度合いは人によって違いがあると言われています。全てが満たされればこれ以上ない幸せを感じるのですが、容易なことではありません。日々の生活の中で、自分自身や周りの人たちは、どの欲求を満たしたいと強く感じているのか考えてみると、自己理解や他者理解が深まり、みんなが幸せに過ごしていけるのだと思います。

学校でも、子どもはどの欲求が強いのか、一人一人の行動を観察したり問い掛けたりしながら一人一人の強みに気づき、個性を生かして幸せに生きていけるように手助けしていきたいと考えています。本年も御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。